

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①盛山和夫著『社会保障が経済を強くする』光文社 (283頁, 新書判)</p> <p>著者は、人口減少によって、商品やサービスへの消費需要が減るなか、新たな財・サービスの創造ができれば成長の反転も可能だと主張。従来の規制緩和を軸とした「効率性重視」の成長戦略から、社会保障の充実を成長の要とした「生活革新重視」への転換が必要だと強調する。具体的には、子育てに焦点を置いた「共同子育て社会」という徹底的な社会的支援の仕組みが新しい生活文化を構築し、経済の成長にも大きく寄与すると見ている。近年の長期経済低迷の原因は、①財政のムダ②様々な規制③社会保障費の増大、だとする市場主義的「主流派経済学」に反論。本書ではとくに、③に焦点を当て、社会保障サービスの充実などの内需主導型の経済成長の重要性を主張する。</p>	<p>③仁田道夫他編著『これからの集团的労使関係を問う』エイデル研究所 (255頁, A5判)</p> <p>労働組合組織率の低下や非正規雇用労働者数の増加、経済のグローバル化など連合の抱える課題は山積している。本書は、連合が2012年に設置した「集团的労使関係研究会」での議論をもとにまとめられている。本書の問題関心は、社会改革を軸となって推進すべき労働運動自身の抱える課題の探究。「解は現場にある」との方法的立場のもと、労働運動家と研究者がコラボ。労働者代表のあり方、企業別労働組合の組織的基盤、解雇などの紛争解決と集团的労使関係、就業形態多様化と集团的労使関係など8つのテーマについて、運動家が問題提起し、研究者が論文で答える。労働運動の基盤は企業別組合にあるとの認識に立ち、産業別労働組合、ナショナルセンターの役割を追求。</p>
<p>②大槻奈巳著『職務格差』勁草書房 (x+373+xvii頁, 四六判)</p> <p>本書は、男女雇用機会均等法が施行され総合職女性が誕生したものの、女性の活用にはつながらなかったと総括。性別職務分離を解消しないまま実施されただけでなく、かえって分離の強化につながったと分析。「理念的」に改善を試みても限界があるとも強調。女性の活躍推進には、職務の価値に基づいた賃金が必要と提唱する。また、現在求職していない女性は、年齢制限が障害となり働く場がないと考えていた可能性があるため、意識変革の必要性も訴える。職務格差という視点から、「女性の活躍推進」を阻んでいる要因を、労働過程に焦点を当て探ることが本書の目的。2010年から15年に発表された原稿を編集、ジェンダー化された構造を浮かび上がらせようとしている。</p>	<p>④石田一紀著『介護労働の本質と働きがい』萌文社 (247頁, A5判)</p> <p>「人に安らぎと希望を与えたい」。介護の仕事に携わる人であれば、誰もが抱く願いであろう。本書は、人と向かい合うことは、人間の尊厳や発達課題からみた「専門性」が鋭く問われることだという。しかし、現状では介護福祉労働は、一段と逆行する労働環境に置かれており、結果として、燃え尽き、挫折し、働きがいを見失っていると指摘。本書は「介護福祉労働の働きがい」に焦点を置き、①介護福祉労働の特徴は何か②介護者の要求の特徴は何か③介護福祉労働で問われる援助の視点とは何か、について事例を交えて分析する。多くの労働者が職場を去ってしまうなか、介護福祉労働者として働くことに自信と誇りを持ってほしい、と激励。介護労働の理想の姿を探究する。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2015年11—12月労働図書館受け入れ)

- | | |
|---|---|
| ⑤高仲幸雄著『有期労働契約締結・更新・雇止めの実務と就業規則』日本法令(299頁, A5判) | ⑩堀利和編著『障害者が労働力商品と見做されたいわけ』社会評論社(301頁, 四六判) |
| ⑥谷本真由美著『日本人の働き方の9割がヤバい件について』PHPエディターズ・グループ(239頁, 四六判) | ⑪山口ヨシ子著『ワーキングガールのアメリカ』彩流社(188頁, 四六判) |
| ⑦高坂立夫著『わかる労働力概説』東洋出版(127頁, 四六判) | ⑫中澤涉他編著『格差社会の中の高校生』勁草書房(x+184頁, A5判) |
| ⑧プロジェクト25実行委員会編著『ワーキングビュア白書』日経BPコンサルティング(215頁, 四六判) | ⑬渡辺峻他編著『学生のためのキャリアデザイン入門』中央経済社(ii+vi+184頁, B5判) |
| ⑨都築弘著『不当労働行為の審査と訴訟』ぎょうせい(9+355頁, A5判) | ⑭増田将史著『「ストレスチェック」導入ガイドブック』経団連出版(134頁, A5判) |

労働図書館(資料センター) <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書115,000冊、洋書30,000冊、和洋の製本雑誌25,000冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30 ~ 17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

